

平成24年

災害の記録



鹿児島県

はじめに

平成24年中の災害による本県の被害額は、約280億円となりました。

主なものとしては、8月25日から27日にかけて奄美地方に接近した台風第15号により1名の尊い命が失われるとともに、公共土木施設や農林水産業施設等に甚大な被害が生じました。

さらに、9月15日から17日にかけて接近した台風第16号、9月29日から30日にかけて接近した台風第17号により与論町を中心に住家へ甚大な被害が発生し、また奄美地方を中心に公共施設に甚大な被害が生じました。

火山災害においては、桜島において年間885回の爆発が発生し、降灰による農作物への被害額は、約67億円に上りました。

自然災害による被害を受けやすい本県においては、防災対策を県政の重要課題のひとつとして平成20年4月に施行した「県防災対策基本条例」に基づき、県民が自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民がお互いに助け合って地域の安全を確保する「共助」、市町村、県及び防災関係機関が行う「公助」を基本として、各主体がそれぞれの役割と責任のもとに連携・共同して防災対策を着実に行うこととし、各般にわたる様々な施策の積極的な推進に取り組んでいるところです。

今後とも県民の生命、財産を守るため、市町村や防災関係機関等と緊密な連携を図りながら災害の未然防止に万全を期して参りたいと考えています。

ここに、平成24年中に県内で発生した災害を収録しましたので、今後の防災対策の参考にしていただければ幸いです。

最後に本誌の編集に当たり、御協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

平成26年3月

鹿児島県危機管理局危機管理防災課長 南 重秋

目 次

第1	災害の概況	・・・・・・・・	1
第2	被害総括表	・・・・・・・・	2
第3	降雨災害		
1	4月11日の大雨	・・・・・・・・	7
2	4月21日～21日の暴風・大雨・洪水	・・・・・・・・	10
3	5月1日の大雨・洪水	・・・・・・・・	15
4	5月31日の大雨	・・・・・・・・	19
5	6月9日の大雨・洪水	・・・・・・・・	23
6	6月10日～11日の大雨・洪水	・・・・・・・・	26
7	6月15日の大雨・洪水	・・・・・・・・	31
8	6月15日～17日の大雨・洪水	・・・・・・・・	34
9	6月20日の大雨・洪水	・・・・・・・・	42
10	6月23日～25日の大雨・洪水	・・・・・・・・	45
11	6月25日～28日の大雨・洪水	・・・・・・・・	51
12	7月2日の大雨	・・・・・・・・	59
13	7月3日の大雨	・・・・・・・・	62
14	7月7日～9日の大雨・洪水	・・・・・・・・	65
15	7月11日～12日の大雨	・・・・・・・・	71
16	7月12日～13日の大雨	・・・・・・・・	76
17	7月16日の大雨・洪水	・・・・・・・・	82
18	7月19日の大雨・洪水	・・・・・・・・	85
19	7月20日の大雨・洪水	・・・・・・・・	88
20	7月22日の大雨・洪水	・・・・・・・・	91
21	7月26日の大雨・洪水	・・・・・・・・	94
22	8月10日の大雨・洪水	・・・・・・・・	97
23	8月22日～23日の大雨	・・・・・・・・	100
24	8月28日～29日の大雨・洪水	・・・・・・・・	104
25	8月30日の大雨・洪水	・・・・・・・・	108
26	9月2日の大雨・洪水	・・・・・・・・	111
27	9月14日の大雨・洪水	・・・・・・・・	115
28	11月4日の大雨・洪水	・・・・・・・・	118
29	12月15日の洪水	・・・・・・・・	122

第4	台風災害	
1	6月18日～19日の第4号	126
2	6月21日の第5号	134
3	7月18日の第7号	141
4	8月1日の第10号	146
5	8月5日の第11号	153
6	8月25日～27日の第15号	158
7	9月15日～17日の第16号	171
8	9月29日～30日の第17号	185
9	10月18日の第21号	195
第5	地震・津波災害	
1	8月17日の天草灘震源地震	201
2	8月31日の津波注意報	202
第6	その他災害	
1	2月2日～3日の寒害	203
2	4月3日の暴風	208
3	4月地すべり	212
4	6月8日～10月22日の地すべり	212
5	6月23日～10月22日の地すべり	212
6	12月5日のひょう害	213
第7	火山の活動状況及び被害状況	
1	桜島	216
2	霧島山（新燃岳，御鉢）	230
3	薩摩硫黄島	235
4	口永良部島	238
5	諏訪之瀬島	241
第8	参考資料	
1	平成24年災害気象名別被害額一覧表	245
2	平成24年災害年報	246
3	平成24年局地激甚災害指定	251
4	平成24年警報発令状況	252
5	平成24年地震発生状況	260
6	平成24年火山情報発表状況	261
7	平成24年避難勧告等発令状況	262
8	平成24年台風発生状況（台風の発生数と接近・上陸数）	263
9	平成24年火災発生状況	265
10	平成24年出火原因別火災件数	266
11	鹿児島県におけるプロパンガス事故の発生状況	267
12	噴火警戒レベルとは	269

平成 24 年の鹿児島県内の天気の特徴

1月は、寒気や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。中旬には低気圧の影響で大雨となった所もあった。鹿児島市の雪日数は2日(平年は2.3日)だった。月平均気温は、鹿児島市8.0度(平年比-0.5、以下カッコ内は平年比を示す)、奄美市14.5度(-0.3)だった。また、月間日照時間が、奄美市19.5時間(32%)、沖永良部35.2時間(41%)と、いずれも1月としては観測開始以来最も少ない記録となった。

2月も、寒気や気圧の谷を受け、曇りや雨の日が多かった。上旬、中旬はたびたび冬型気圧配置が強まり、薩摩地方でみぞれや雪を観測した。鹿児島市の雪日数は7日(平年は1.8日)となった。月平均気温は、鹿児島市9.1度(-0.7)、奄美市15.1度(-0.1)だった。

3月は、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。下旬は高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。月平均気温は、鹿児島市12.8度(+0.3)、奄美市17.4度(+0.3)だった。鹿児島市では14日の最小湿度が11%まで下がり、3月の極値となった。鹿児島市では26日にソメイヨシノが開花(平年並み)した。

4月は、天気が周期的に変わり、3日は急速に発達した低気圧の影響で暴風となった所があった。3日、鹿児島市で最大瞬間風速23.9m/sを観測し、4月の極値を更新した。奄美は中旬頃から梅雨のはしりとなった。月平均気温は、鹿児島市16.9度(±0.0)、奄美市19.7度(-0.1)。鹿児島市で5日にソメイヨシノが満開(平年より1日遅い)となった。

5月は、奄美は天気がぐずつき、大雨となった日があった。県本土、種子・屋久は初め晴れた日が多かったが、次第に天気が周期変化し、下旬は曇りや雨の日が多くなった。奄美は13日頃、平年より2日遅く梅雨入りし、九州南部は30日頃、平年より1日早い梅雨入りとなった。月平均気温は、鹿児島市21.2度(+0.4)、奄美市22.3度(-0.4)。月降水量は、鹿児島市は83.5ミリ(38%)、奄美市は346.5ミリ(134%)。

6月は、県内は梅雨前線の影響で梅雨空が続いた。奄美は上旬に台風3号、中旬に台風4号の影響も受けて大雨となった日があった。梅雨前線は6月下旬には九州付近に停滞して活動を強め、県本土、種子・屋久は大雨となった日があった。奄美は29日頃に梅雨明けした(平年並み)。月平均気温は、鹿児島市23.7度(-0.3)、奄美市25.9度(-0.1)。月降水量は、鹿児島市858.0ミリ(190%)、奄美市703.5ミリ(171%)。枕崎市は1056.5ミリ(265%)で、6月の降水量としては過去最も多い記録となった。

7月は、県本土、種子・屋久は中旬頃まで、梅雨空が続いた。下旬は太平洋高気圧が本州付近で勢力を強め、九州南部は23日頃に梅雨明けした(平年より9日遅い)。奄美は晴れた日が多かったが、中旬頃から次第に湿った空気の影響を受けやすくなり、にわか雨や雷雨となった日があった。17日は台風7号の影響で大雨となった。月平均気温は、鹿児島市28.0度(-0.1)、奄美市28.9度(+0.2)。月降水量は、鹿児島市418.0ミリ(131%)、奄美市284.0ミリ(140%)。

8月は、太平洋高気圧の西日本への張り出しが弱く、湿った空気や上空の寒気の影響を受けて、にわか雨や雷雨となった日が多かった。また、上旬には台風10号や11号、下旬には台風15号の影響を受け、大雨となった所があった。月平均気温は、鹿児島市28.9度(+0.4)、奄美市28.4度(±0.0)。月降水量は、鹿児島市338.0ミリ(152%)、奄美市718.5ミリ(268%)。沖永良部の月降水量は834.5ミリ(465%)と、8月の極値を更新した。奄美市の日照時間は114.7時間(65%)と、8月としては2番目に少ない記録となった。

9月は太平洋高気圧の中心が日本の東へさらに後退し、上空の寒気や湿った空気、台風の影響を受けやすかった。曇りや雨の日が多く、中旬には台風16号の、下旬には台風17号の影響を受けて、奄美で大荒れとなった日があった。月平均気温は、鹿児島市25.2度(-0.9)、奄美市26.1度(-0.7)。月降水量は鹿児島市248.5ミリ(118%)、奄美市594.0ミリ(196%)。沖永良部の月降水量は391.0ミリ(260%)で、9月としては2番目に多い記録となった。

10月は、西日本に大陸の乾いた高気圧が張りだした。県本土、種子・屋久は晴れた日が多かった。奄美は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、17日から18日は台風21号の影響で荒れた天気となった。月平均気温は、鹿児島市21.1度(-0.1)、奄美市23.0度(-0.7)。また、枕崎市では15日に最小湿度が22%まで下がり、10月の極値を更新した。

11月は、低気圧や前線が日本付近を頻繁に通過するようになり、その都度、寒気が流れ込んできた。中旬以降はたびたび冬型気圧配置が強まり、東シナ海側を中心にしづれた。月平均気温は、鹿児島市14.3度(-1.6)、奄美市19.3度(-0.9)。月降水量は鹿児島市122.5ミリ(133%)、奄美市157.0ミリ(87%)。

12月も、日本付近に寒気が流れ込みやすく、たびたび冬型気圧配置が強まった。東シナ海側を中心にしづれて、9日には桜島で平年より6日早く初冠雪が観測された。24日には鹿児島市で平年より9日も早く初雪が降った。鹿児島市の雪日数は2日(平年は0.8日)。月平均気温は、鹿児島市9.7度(-0.9)、奄美市16.2度(-0.3)。また、阿久根市の月日照時間は71.1時間(56%)しかなく、12月としては最も少ない記録となった。鹿児島市の月日照時間も97.4時間(65%)で、12月としては過去3番目の少なさとなった。

1年間の平均気温は、鹿児島市は18.2度(-0.4)、奄美市は21.4度(-0.2)で、平年を下回った。

降水量は、鹿児島市は2895.0ミリ(128%)、奄美市は4167.5ミリ(147%)で、いずれも平年よりかなり多かった。沖永良部は3105.5ミリ(169%)で、過去2番目に多い記録となった。

日照時間は、鹿児島市は1750.5時間(90%)、奄美市は1244.8時間(92%)で、いずれも平年よりかなり少なかった。沖永良部は1654.7時間(88%)で、年間日照時間としては過去2番目に少ない記録となった。

第1 災害の概況

○ 降雨災害

雨による被害額が公共土木施設や農林水産業を中心に被害が発生し、被害額は約64億円となり、年間被害総額の約23%であった。

○ 台風災害

平成24年中には、上陸はなかったものの、9個の台風が本県に接近し、被害をもたらした。8月下旬から9月下旬にかけて接近した台風第15号、台風第16号、台風第17号は、奄美地方を中心に被害をもたらし、被害額は約133億円となった。

また、台風災害による年間被害額は約139億9千万円であり、年間被害総額の約50%であった。

○ 地震・津波災害

8月17日に天草灘を震源とする地震が発生し、本県においても長島町で震度4を観測した。また8月31日には、フィリピン付近で発生した地震により、県内に津波注意が発表され、枕崎で高さ20cmの津波を観測した。いずれも被害はなかった。

○ その他の災害

平成24年中は、暴風や雹、寒害などにより農作物等を中心に被害が発生した。また、地すべり災害による被害等を含め、被害額は、約8億5千万となった。

○ 火山災害

桜島の降灰により、野菜等の農作物に被害をもたらし、被害額は約67億円となり、年間被害総額の約24%であった。

◆ 災害種別被害額

平成24年被害総額 27,976,518千円

種 類	被害額（千円）
降 雨 災 害	6,404,384
台 風 災 害	13,988,601
地震・津波災害	0
そ の 他 災 害	855,651
火 山 災 害	6,727,882
合 計	27,976,518千円

◆ 平成24年の梅雨時期

鹿児島地方 } 5月30日ごろ～7月23日
種子島・屋久島地方 } (5月23日ごろ～7月8日ごろ)

奄美地方 } 5月13日ごろ～6月29日ごろ
(4月30日ごろ～6月22日ごろ)

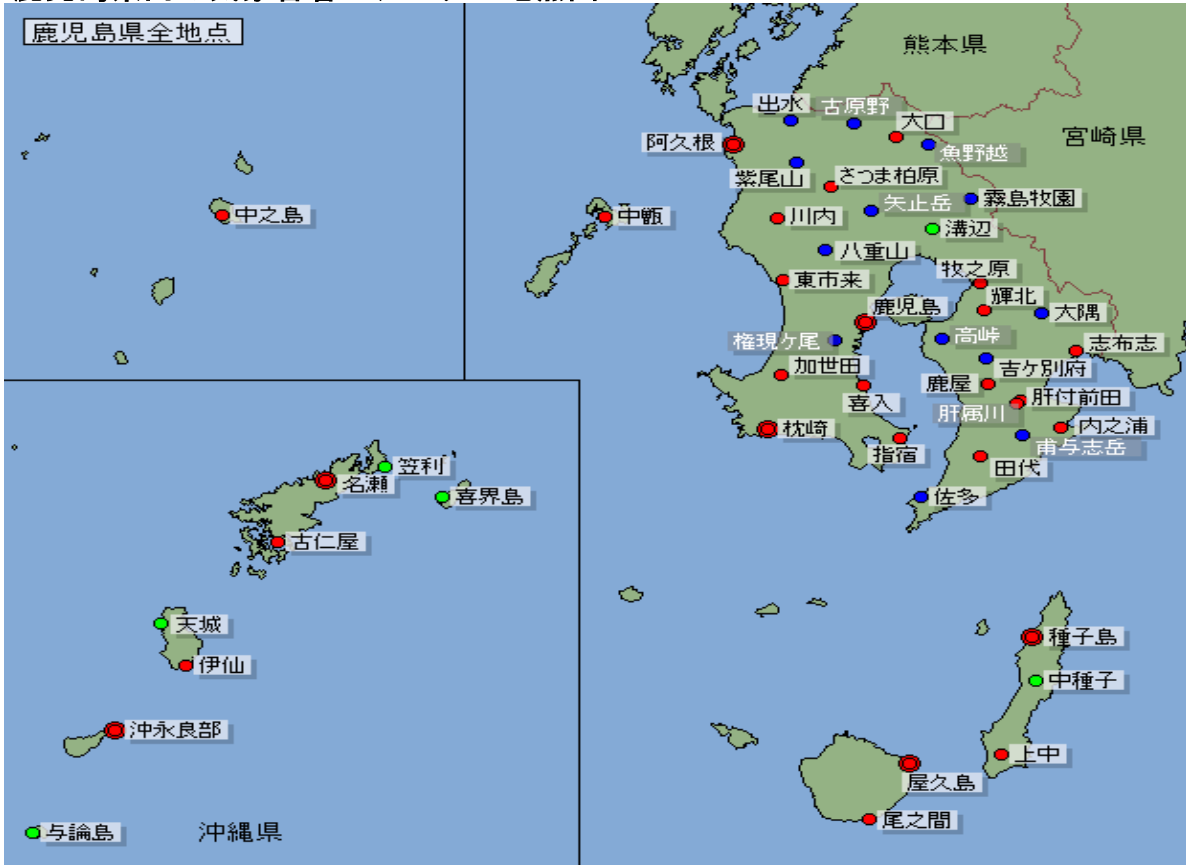
※ () 内は、平成23年の梅雨時期

第2 被害総括表

区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分	被害数	単位	被害額(千円)		
人的被害	死者	1	人		衛生福祉関係の被害	病院・診療所等	27	棟	71,765	
	行方不明		人			水道施設		箇所		
	重傷者	1	人			清掃施設	3	〃	32,512	
	軽傷者	6	人			福祉施設	41	〃	49,961	
	合計	8	人			その他		〃		
住家の被害	全壊	棟数	64	棟	農作物の被害	合計	71	〃	154,238	
		世帯数	64	世帯		水陸稲	272.50	ha	18,960	
		人員	141	人		麦類		〃		
	半壊	棟数	312	棟		雑穀いも豆類	1,217.60	〃	80,027	
		世帯数	313	世帯		野菜	2,884.40	〃	1,001,355	
		人員	586	人		果実	866.40	〃	141,133	
	一部破損	棟数	2,853	棟		工芸作物	36,750.90	〃	2,180,788	
		世帯数	2,855	世帯		飼料用作物	1,476.20	〃	26,672	
		人員	5,605	人		花き	43.80	〃	78,702	
	床上浸水	棟数	126	棟		桑		〃		
		世帯数	138	世帯		茶		〃		
		人員	273	人		樹体	264.40	〃	47,811	
	床下浸水	棟数	789	棟		その他	163.70	〃	91,523	
		世帯数	804	世帯		合計	43,939.90	〃	3,666,971	
		人員	1,418	人		耕地	田	202	箇所	
合計	棟数	4,144	棟	(流出埋没)	63.40		ha	208,000		
	世帯数	4,174	世帯	畑	308		箇所			
非住家の被害	公共建物	棟数 全半壊	13	棟	関係施設の被害	(流出埋没)	46.20	ha	429,000	
						ため池	1	箇所	200	
						頭首工	4	〃	9,000	
						水路	215	〃	434,500	
						道路	286	〃	909,300	
	橋りょう		〃							
	農地保全		〃							
	その他	棟数 全半壊	1,123	棟			揚水機	2	〃	1,000
							その他		〃	
							その他		〃	
合計					1,018		〃	1,991,000		
家畜等の被害					213			3,233		

区 分				被害数	単位	被害額(千円)	区 分				被害数	単位	被害額(千円)
農業生産用資材施設	耕種関係		11	棟	1,182	土木関係の被害	国庫負担対象	国交省港湾農水省漁港	県工事	5	箇所	114,641	
	畜産関係		685	〃	499,600				市町村	4	〃	247,642	
	蚕糸関係			〃					小計	9	〃	362,283	
	園芸関係		702	〃	252,260			県工事	10	〃	410,585		
	その他		36	〃	2,892			市町村	4	〃	98,554		
	合計		1,434	〃	755,934			小計	14	〃	509,139		
水産関係の被害	漁船		63	隻	13,267	被害	合計		703	〃	9,765,378		
	漁具		3	統	5,200		その他		333	〃	1,412,554		
	施設その他		8	件	72,305		総計		1,036	〃	11,177,932		
	合計				90,772								
鉱工業関係被害						学校関係の被害	高等学校		28	校	96,612		
商業関係の被害	店舗		231	棟	721,461		中学校		62	〃	38,739		
	その他施設		39	件	261,410		小学校		90	〃	48,308		
	商品		34	件	26,520		その他		21	〃	11,679		
	合計				1,009,391		合計		201	〃	195,338		
山林関係の被害	林地(崩壊地)		58	箇所	672,700	その他の公共施設被害		136	箇所	402,137			
	施設等被害	治山施設		6	〃	82,376	鉄道の関係	鉄軌道関係			件		
		林道		90	〃	1,001,813		線路工作物関係			〃		
		林産施設			〃			停車場工作物関係			〃		
	林産物			ha		機械関係			〃				
合計				1,756,889	建築物関係				〃				
土木関係の被害	国庫負担対象	国土地交通省	国土地交通省	河川	91	箇所	928,254	被害	電氣通信関係被害		0		
				砂防		〃			電力関係被害		0		
				道路	152	〃	2,776,707		電氣通信関係被害		0		
				急傾斜		〃			電力関係被害		0		
				橋りょう		〃		警察関係の被害		76	件	25,817	
				海岸	1	〃	1,719,984	交通安全施設の被害		253	〃	18,984	
				その他		〃		その他		0			
				小計	244	〃	5,424,945	桜島降灰被害(1月1日～12月31日)				6,727,882	
				市河川	162	〃	863,257	被害総額		うち桜島降灰以外		21,248,636	
				市道路	269	〃	2,528,129	総合計		うち桜島降灰		6,727,882	
				市橋りょう		〃							
				市その他	5	〃	77,625						
				市小計	436	〃	3,469,011						

鹿児島県内の気象官署・アメダス地点図



鹿児島県の注意報・警報細分区域 (平成26年2月現在)



内容に関する説明

1. 雨の降り方の表現

- 1 時間雨量が 30 ミリ以上 50 ミリ未満の場合、「激しい雨」
- 1 時間雨量が 50 ミリ以上 80 ミリ未満の場合、「非常に激しい雨」
- 1 時間雨量が 80 ミリ以上の場合、「猛烈な雨」

また、期間の雨量が 100 ミリ以上を「大雨」という。

2. 表中の数値の補足

網掛けしている数値は「資料不足値」を意味する。統計値を満たすのに十分な資料数（全体数のおよそ 80 パーセントが必要）を満たしていないので、利用に関しては注意を要する。

3. 平年値について

1981年～2010年の平均値を使用している。

九州南部および奄美の梅雨入りと梅雨明け

年	九州南部		奄美	
	梅雨入り	梅雨明け	梅雨入り	梅雨明け
2000年	5月26日ごろ	7月15日ごろ	5月26日ごろ	6月21日ごろ
2001年	5月21日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	6月23日ごろ
2002年	6月10日ごろ	7月21日ごろ	5月8日ごろ	6月30日ごろ
2003年	6月9日ごろ	7月22日ごろ	5月13日ごろ	6月27日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	5月14日ごろ	6月24日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月15日ごろ	5月5日ごろ	6月27日ごろ
2006年	5月26日ごろ	7月25日ごろ	5月11日ごろ	6月22日ごろ
2007年	6月1日ごろ	7月18日ごろ	5月26日ごろ	6月28日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	5月22日ごろ	7月2日ごろ
2009年	6月2日ごろ	7月12日ごろ	5月18日ごろ	7月5日ごろ
2010年	6月12日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	7月15日ごろ
2011年	5月23日ごろ	7月8日ごろ	4月30日ごろ	6月22日ごろ
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
平年	5月31日ごろ	7月14日ごろ	5月11日ごろ	6月29日ごろ